

**【空き家活用コーディネーター】令和7年度 京丹後市地域おこし協力隊募集！**

雄大な自然と豊かな食資源を誇る隠れたユートピア京丹後市の玄関口「大宮町」。  
昨今課題となっている「空き家」を、『宝』に変えるシステムを一緒に創りませんか？  
「空き家と聞くとワクワクする…」そんな人たちを増やしていきましょう！！

京丹後市は、京都府最北端の町として知られ、四季によりいろんな表情を見せる美しい日本海をはじめ、雄大な山々、清らかな川、それら大自然がもたらす景観や豊富な食資源、また源泉が40カ所もある温泉に絹織物の生産量日本一を誇る丹後ちりめん、また近年は長寿のまちとしても注目を集めるなど、全国的にはまだまだ知られていませんが、誇るべき資源がたくさんあるところです。

今回募集する協力隊の活動拠点となる大宮町は、広大な農地と豊かな森林に囲まれた農業が盛んなエリアです。お米から野菜、フルーツまでおいしい実りが盛りだくさんです。一方で、京都市内など都市部から伸びる高速道路の終点（令和7年7月現在、今後延伸予定）となっている「京丹後市の玄関口」であり、エリア中心部には飲食店やスーパー、家電量販店に様々な全国チェーン店などが立ち並ぶ「京丹後市の都心」でもあり、いわゆる「住みやすい環境」が整った地域で、子育て世代にも人気のエリアです。「自然」と「町としての機能のバランス」と「都市部からのアクセスの良さ」が特徴です。

そんな大宮町ですが、やはり昨今「空き家」が増加しています。いろんな事情で発生してしまう空き家ですが、そのまま放置すると特定空き家(倒壊の恐れや衛生面・景観に悪影響を及ぼす空き家)になってしまい、問題が深刻化し、解決が難しくなっていきます。そんな未来を食い止めようと行動を起こしているのが「大宮町新コミ区長協議会」。今回の協力隊の受入先となっていただく地域のコミュニティ組織です。



崇山（あらたやま）森林公園第二展望台から見た大宮町



内山ブナ林



谷内公民館

## 大宮町では、今こんな取り組みが進行中です！

まずは、空き家の実態を把握するための調査が進められています。その家が空き家かどうかなんて一目でわかる物件ばかりでもなければ、所有者さんが近所に住んでいるとも限りません。室内の状態や所有者さんの意向、刻々と変化する状況など、簡単に調査といっても一筋縄ではいかない地道な活動です。ただ、この地道な調査の積み重ねで、「ここはすぐに住み出せそうだ！」「見た目以上に中の構造はしっかりしている！」「これはかなり修繕が必要だ…」「思ったより活用（譲渡）に前向きな所有者さんが多い」など、一歩進んだ空き家の情報が集まり始めています。

また、京都市内から高速道路を使えばほんの90分ほどで来れ、自然や食や温泉など都会とは異世界の環境が揃うこの場所に魅力を感じ、移住や二拠点生活を楽しむ人たちが増えてきました。実際、京丹後市には、令和3年以降、毎年50世帯を超える方々が移住され、過去最多を更新し続けています。

とりわけ都市部からの玄関口である大宮町については、都市生活者にとって、アクセスの良さと住みやすい環境が揃っている点は、安心していただけるポイントだと思います。また、京都府の登録無形民俗文化財にも指定されている「大宮賣神社（おおみやめじんじや）の秋祭り」に代表される古き良きものを大切に守り続けている誠実さや、それでいて域学連携で大学生も参加し、みんなで町の将来像を描くなど外からの視点や若い発想も積極的に取り入れる柔軟な地域風土も、移住者にとっては魅力的なポイントだと思います。

もちろん空き家が増え続けているというのは課題ではありますが、言い換えれば「農地付き古民家」「子育てファミリー向け」「単身者向け」「各種店舗向き物件」「社員寮やシェアハウス」「アトリエや音楽スタジオ」などなど、規模や用途によって様々な選択肢が揃っているとも言えます。今後、いろんなタイプの空き家の活動事例が増えていく、そんなポテンシャルを持ったエリアです。



～空き家の活用事例と域学連携～ 地域の方と移住者、市外からの訪問者の交流が増えています



～大宮賣神社の秋祭り～ 地域の祭は地域の宝、子どもたちも一緒に伝統を守り続けています

## 今後の構想

「地域の資源ともいえるバラエティ豊富な空き家」と「京丹後に興味を持ってくれる人たち」をマッチングすることで、『家も人も魅力的で元気なまちづくり』をしていきたいと考えています。また、それは調査の結果や実績からも必ず実現できると考えています。まずは、「大宮町空き家活用・移住相談センター(仮称)」を開設し、所有者さんや移住検討者が気軽に相談に来たり、ネットや不動産屋さんでは手に入らない情報をゲットできたり、ここでの暮らしがイメージできる、そんなカジュアルな窓口をつくりたいと思っています。どうやって情報を発信しようか…、どうすればその情報が必要としている人に届くのか…、どんな空き家の活用方法があるか…、地元の事業者をどうやって巻き込もうか…そんなことをあれやこれやとワクワクしながら考えている最中です。ただ、そもそもこのステップが間違っていないのか？もっと効果的な方法や自分たちでは思いもつかないアイデアがあるんじゃないか？そんな不安があるのも事実です。

大きく動き出そうとしているこのタイミングだからこそ、そんな不安を解消しつつ、着実にかつスピード感を持って、一緒にシステム(収益構造含む)をつくっていく仲間を求めています。

## 遂行いただきたいミッションは？

### ◎大宮町空き家活用・移住相談センター(仮称)の開設およびその運営

大宮町新コミ区長協議会のメンバーと一緒に大宮町という地域に特化した相談窓口の計画・準備～開設～開設後の運用。(徐々に機能・体制を強化していく)

※開設候補地：谷内公民館(大宮町新コミ区長協議会の拠点)

※京丹後市移住支援センター「丹後暮らし探求舎」とも連携

### ◎空き家情報の更新・取りまとめ

大宮町新コミ区長協議会に集まる情報を更新し、「生きた情報」として活用できる状態の維持。

### ◎地元広報誌やSNSなどを活用した地域内外への情報発信

空き家(空き家予備軍)の所有者さんや関西圏を中心とした都市部で暮らす移住・二拠点生活検討者などターゲットに応じたツールを活用した情報発信。

### ◎事業継続・拡大活性化に向けた収益構造の検討

地域での事業継続に留まらず、ご自身の任期終了後を見据えた生業づくりにも繋がる収益構造の検討。

※協力隊としての活動期間中から、構築した収益構造による収益獲得も可

※もちろん、将来は他の事業を自身の生業とすることも可能

～具体的活動のイメージ～

- 活動拠点となる谷内公民館での地域住民との交流(地域内でのネットワークづくり)
- センター開設準備～開設～運営(受入組織や市の移住支援センターとの協働・連携)
- 地域内での情報収集(空き家調査や所有者さんへの意向調査)
- 地域内外の事業者とのネットワーク構築(空き家活用事例・実践者の開拓)
- 地域内外に向けた情報発信
- 本事業に関連する資格取得(建築士、建物診断士、古物商許可など)
- 自身の生業づくり(本事業の収益構造に限らず空き家活用実践者としての活動なども可)

～推進スケジュールイメージ～

ミッション	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
現状把握 ※大宮町全体	[Progress bar from start of R7 to start of R8]			
センター開設		計画・準備	開設	運営
機能・体制強化			移住定住・空き家活用コンシェルジュの育成など	
ネットワーク構築	市内外問わず幅広いネットワークの構築、任期終了後も見据えた生業づくり			

様々な課題や調整、スケジュールの見直しが必要になると思いますので、上記はあくまでイメージです。日々の活動はもちろん任期終了後を見据えた生業づくりについても、中間支援組織によるサポートがありますので、安心して活動していただけます。

こんな人を待っています！

- ゆったりとした環境で暮らしたい人
- 建物が大好きな人
- 人と接するのが好きな人
- 地域に貢献したい人
- どちらかというと、新しいモノより古いモノが好きな人
- 未来のことを考えワクワクできる人
- 人に可愛がられるタイプの人

【さらに、こんな資格・経験・特技を持っている人、大歓迎！】

- 建築士、建物診断士、古物商許可など
- 規模の大小は問わず、何かのプロジェクトをリーダー的に推進したことのある方
- 情報発信（特に SNS などデジタルツールを活用した発信）が得意な人
- 幅広いネットワークをお持ちの方
- 事業計画（それに準ずる計画）を策定したことがある方
- DIY が得意な方
- 次から次にアイデアが湧いてくる方

## 1 募集人数 1名

## 2 募集対象

次の項目をすべて満たす方を対象とします。

- ① 委嘱の日において、年齢が20歳以上50歳未満の方。性別は問いません。
- ② 現在、3大都市圏又は地方都市をはじめとする都市地域等に居住されており、地域おこし協力隊として委嘱後、住民票を京丹後市に移し定住できる方。
- ③ 任期終了後、京丹後市に定住し、起業・就業しようとする意欲を持つ方。
- ④ 普通自動車免許を有しており、実際に運転ができる方。
- ⑤ パソコン等の一般的な操作及びインターネットやSNSなどを活用できる方。
- ⑥ 地域住民と積極的にコミュニケーションを図り、精力的に行動できる方。
- ⑦ 心身ともに健康で誠実に職務を行うことができる方。
- ⑧ 地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当しない方。

## 3 身分等

「京丹後市地域おこし協力隊設置要綱」に基づき、市長が委嘱します。隊員と市は業務委託契約を締結し、隊員は役務の提供に対する謝礼として契約に基づく報酬の支給を受けるものとします。隊員と京丹後市の間に雇用関係は存在しません。

## 4 委嘱日及び委嘱期間

委嘱日は、最短で11月1日(土)を予定していますが、相談に応じます。予定日から活動ができない方の応募も可能です。※遅くとも令和8年3月31日(火)までには着任いただきます。

委嘱期間は1年間ですが、活動状況・実績等を勘案し、最長3年まで延長します。ただし、隊員として相応しくないと判断した場合には、期間中であっても委嘱を取り消すことができるものとします。

## 5 活動時間及び勤務時間

原則として1日あたり7時間45分、1週あたり4日間を目安に、受け入れ地域の意向を踏まえたうえで、活動内容により、市と協議し調整できるものとします。

## 6 待遇等

- ア 報酬 月270,000円/月(報酬、各種手当、活動費含む)
- イ 健康保険料及び年金保険料は各自で負担していただきます。市は雇用保険には加入しません。
- ウ 活動期間中の住居は、個人でご準備ください(京丹後市の家賃補助はありません)。
- エ 活動に使用するパソコン類、車両については、個人でご準備ください。
- オ 副業や兼業が可能です。
- カ 転居に伴う費用は、原則、個人負担となります。
- キ 住居の改修や転居に伴う費用について、条件に合えば市の移住支援施策を利用することができます。詳しくは市ホームページをご覧ください。

## 7 支援体制

京丹後市では、中間支援組織による活動の支援を実施しております。日々の活動から任期終了後の生業づくりまで様々なサポートを受けることができますので、安心して活動していただけます。

※ネットワーク構築のための交流会や各種セミナーなどへも業務の一環として参加していただきます。

## 8 応募手続

### (1) 応募受付期間

9月6日（土）から9月21日（日）まで

### (2) 応募方法

京丹後市ホームページから応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、地域コミュニティ推進課までメールにてご提出ください。なおファイルはPDF形式に変換して添付ください。

また、応募用紙と同時に住民票（スキャンデータ）もご提出ください。

※提出書類：応募用紙、住民票 ともにPDF形式にて

### (3) 応募条件

応募には、原則9月6日（土）に開催する現地フィールドワークへの参加が必要です。

参加が困難な方は別日での対応を検討いたしますので、事務局までご相談ください。

## 9 オンライン説明会

8月20日（水）18時30分から、オンラインによる説明会を開催いたします。

参加については、京丹後市ホームページからオンライン説明会参加用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、地域コミュニティ推進課までメールにてご提出ください。なおファイルはPDF形式に変換して添付ください。詳細については、お申し込みいただいた方にお知らせします。

ご都合が悪い方については、可能な限り個別に対応いたしますので、事務局までご相談ください。

## 10 現地フィールドワーク

日 時：9月6日（土）午前10時から午後4時30分まで（予定）

内 容：現地フィールドワーク及び受入地域との交流

備 考：集合場所までの旅費及び昼食代は各自の負担となります。

集合時間、場所、行程等は申込者にお知らせします。

参加方法：電話及びメールで事務局にお申し込みください。

申込〆切：9月3日（水）

## 11 選考

### (1) 第1次選考（書類審査）

書類選考を行い、応募者全員に結果を通知します。

### (2) 第2次選考（現地面接）

令和7年9月27日（土）実施予定、第1次選考の合格者を対象に面接を行います。

会場や時間など詳細は第1次選考の合格者に通知します。

## 1 2 事務局（お問い合わせ）

京丹後市役所 市長公室 地域コミュニティ推進課 担当者：柳

〒627-8567 京都府京丹後市峰山町杉谷889 TEL：0772-69-1050

e-mail：[chiikicom@city.kyotango.lg.jp](mailto:chiikicom@city.kyotango.lg.jp)

一緒に未来を明るくするシステムを創りましょう！ご応募お待ちしております！！



～大宮町新コミ区長協議会 役員のみなさん～